

ご参考に ① サイディングの塗り替えについて

サイディング塗装に汚れ、チョーキング、色あせ、つや引けなどがみられ、外観上見苦しい状態になったり、塗装面に多くの割れ、ふくれ、はがれなどが発生したら、そろそろ塗り替えの時期です。

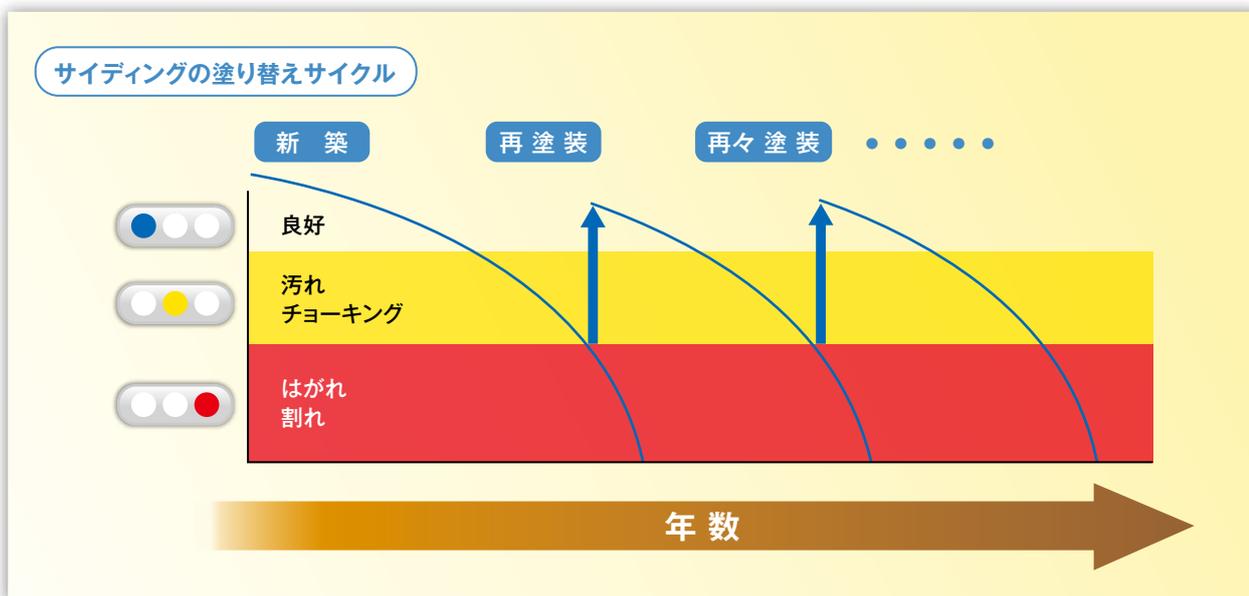
塗り替え用の塗料には色々な種類があります。また、塗られている塗料と再塗装で使用する塗料は相性がありますので、あらかじめ専門業者に相談してください。

1 塗料の種類により耐久性と価格が変わります。



2 塗膜の傷みをそのまま放置すると、塗膜の異常だけでなく、さらにサイディング基材まで傷みが進むことがあります。

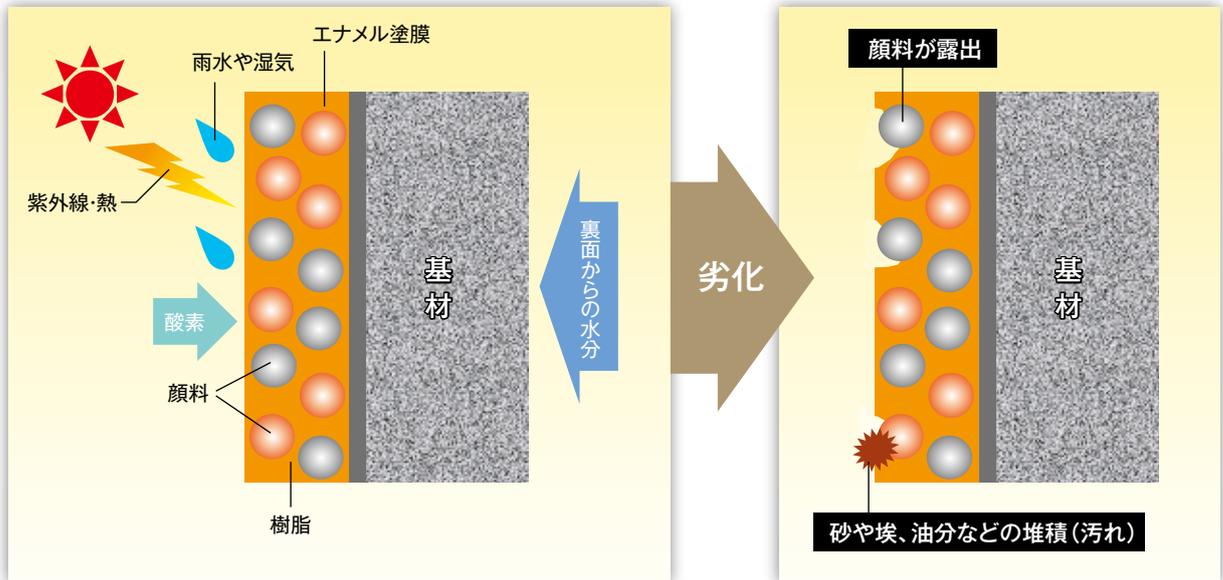
サイディングの塗り替えは、塗膜の劣化だけでなく、サイディングそのものの劣化状況などによっても異なります。現在の劣化状況を確認した上で適切な前処理を行い、塗り替え工事を行う必要がありますので専門業者によく相談してください。



ご参考に

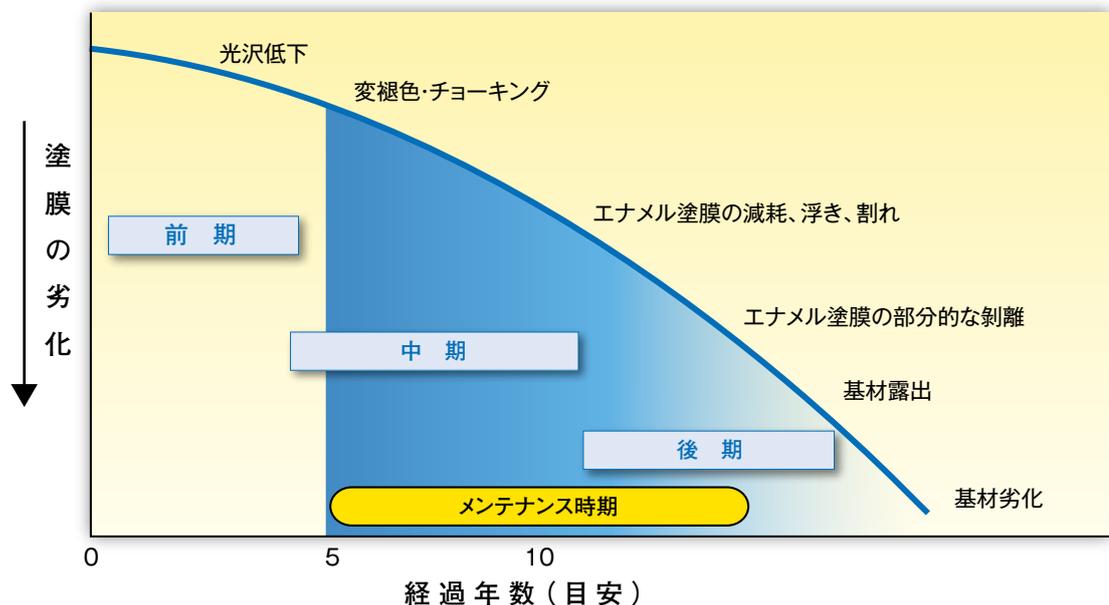
A エナメル（有色不透明塗料）塗装の場合

1 サイディングの塗装面は、施工後から紫外線・熱・水などにより塗膜の劣化や汚れが徐々に進行していきます。



2 一般的な塗装仕様(アクリル樹脂系)では、塗膜の劣化が進むとともに下記のような現象が確認されます。

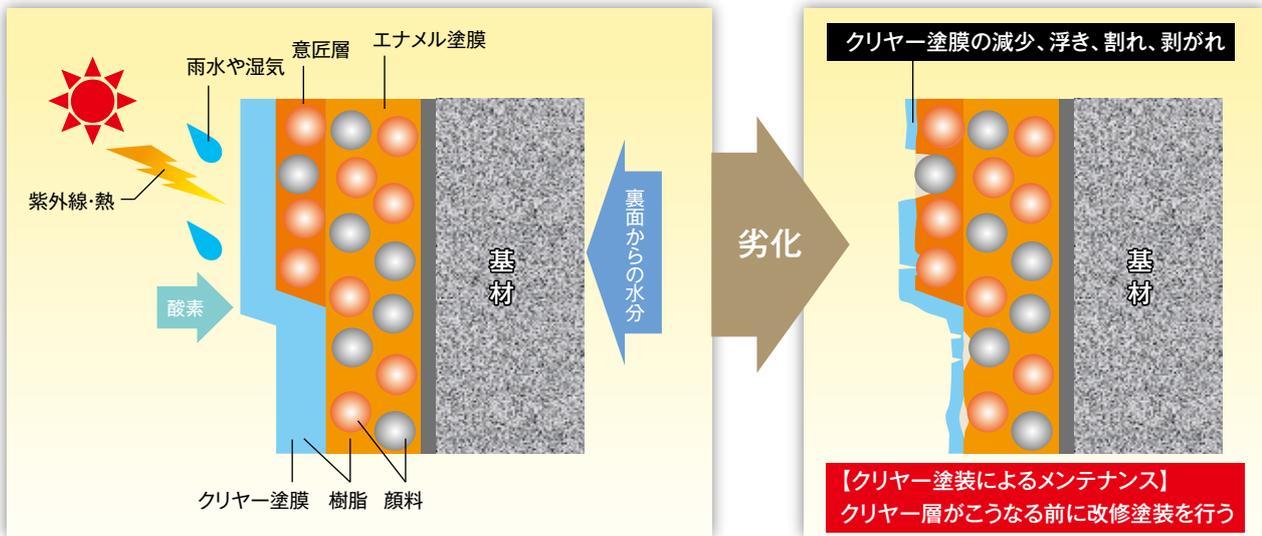
前期	エナメル塗膜表面から樹脂の劣化が始まり、光沢の低下が生じてきます。
中期	塗膜の樹脂劣化により変褪色が少しずつ進行し、塗膜表面が粉状(チョーキング現象)になります。塗装面を触って塗装色や白い粉が多く付着するようになるとメンテナンス時期です。
後期	塗膜の劣化がさらに進むと、塗膜の減耗や浮き、割れがはじまります。その後、塗膜の部分的な剥離が起こり、基材が露出すると吸水しやすくなり、変形や基材そのものの劣化などが現れてきます。塗膜の剥離がはじまるまでに、塗膜の劣化に応じた前処理を行い、エナメル塗装仕上げを行ってください。



ご参考に

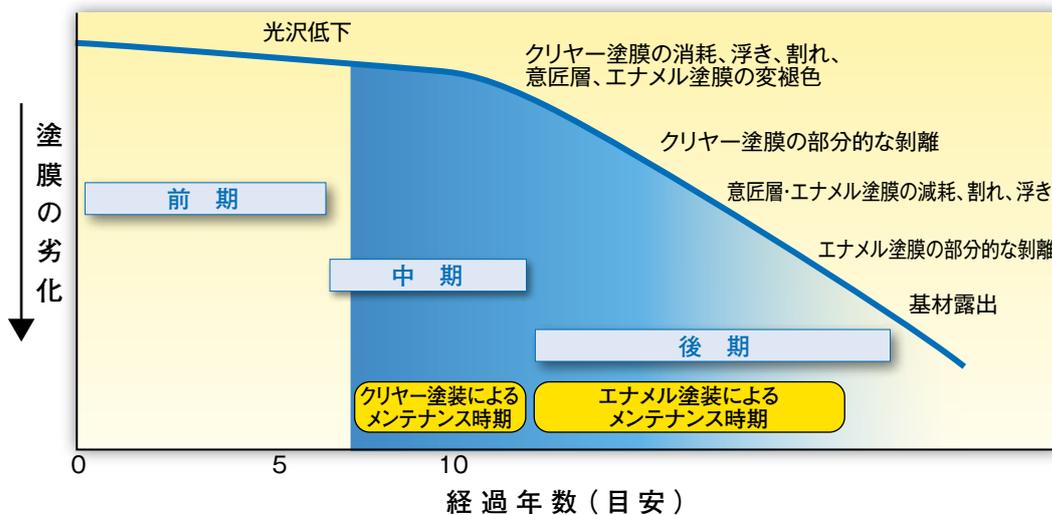
B クリヤー（透明塗料）塗装の場合

1 サイディングの塗装面は、意匠層、エナメル塗膜をクリヤー塗膜で保護していますが、施工後から紫外線・熱・水などによりクリヤー塗膜とその下の意匠層、エナメル塗膜表面の劣化が徐々に進行していきます。



2 クリヤー塗装仕様（アクリル・アクリルシリコン樹脂系）では、塗膜の劣化が進むとともに下記のような現象が確認されます。

前 期	クリヤー塗膜表面から劣化がはじまり、徐々に光沢の低下が生じてきます。
中 期	クリヤー塗膜の劣化が進むとクリヤー塗膜の減耗や浮き、割れがはじまり、意匠層とエナメル塗膜の変色が進行していきます。クリヤー塗膜の浮きははじまる前は、元の色合い、意匠層を保持するクリヤー塗装仕上げができるメンテナンス時期です。
後 期	塗膜劣化がさらに進むと、クリヤー塗膜の部分的な剥離がはじまります。その後、意匠層、エナメル塗膜の減耗や割れ、浮き、部分的な剥離が起こり、基材が露出すると吸水しやすくなり、変形や基材そのものの劣化などが現れてきます。エナメル塗膜の剥離がはじまるまでに、塗膜の劣化に応じた前処理を行い、エナメル塗装仕上げを行ってください。



●クリヤー塗装によるメンテナンスの注意事項

- メンテナンスを行うサイディングの塗装の種類や劣化状態に応じたクリヤー塗料の選定が重要です。
- 塗装の種類や塗装表面の劣化が著しい場合は、クリヤー塗装仕上げができない場合があります。
- 下地の汚れの除去やカビ、藻の処置を行わないで塗装を行うと、そのままの外観となりますのでご注意ください。
- クリヤー塗装によるメンテナンスをされる場合は、住宅会社様・工務店様（専門業者）に相談し、塗装を依頼してください。

ご参考
に

ご参考に ③ サイディングの汚れの除去について



藻が発生した外壁



換気フード周辺の汚れ



経年によってつく汚れ



外壁についた鳥の糞

1 「水洗い」または「洗剤*を用いた水洗い」が基本です。 * 食器洗い用洗剤など

窯業系サイディング(外装材)は、まわりの環境によって、土ほこりや藻・コケ・カビ・鳥の糞などによって汚れてきます。美観を保つためには日頃のお手入れが必要です。一般的な清掃方法としては、「水洗い」または、「食器洗い用洗剤などを用いて柔らかい布や柔らかいブラシで汚れを落とし、流水で洗い流す」方法があります。

しつこい汚れやカビは、ある程度は落ちますが取りきれない場合もあります。

注：塗装仕様(骨材入り等)によっては、柔らかい布の使用は適しません。

基本的な外壁洗浄の例 *高所作業など危険が伴う場合は、住宅会社様・工務店様・専門業者様に相談してください。

「水洗い」の場合



流水で十分に洗い流します。

「洗剤*を用いた水洗い」の場合



食器洗い用洗剤などを用いて、柔らかい布や柔らかいブラシで洗浄し、その後流水で十分に洗い流します。

ご参考に



注意! 高圧洗浄は、サイディングの塗膜やシーリング目地を傷めることがあります。



禁止! スチーム洗浄は、サイディングの塗膜やシーリング目地を傷めますので、おやめください。

ご参考に ④ 外壁に見られる藻・カビの発生と除去について

1 何故、建物の外壁に藻・カビが発生するのか

藻・カビは適度な水分と適度な温度等の環境条件が整えば、建物の外壁に限らずどこにでも発生するものです。

一般的にサイディングは、表面は主に有機質の塗料で仕上げられており、その塗膜表面に孢子等が付着して発生する藻(クロレラ、トレントポーリア等)は時々雨がかり、湿った状態になりやすい場所に緑色の藻として観察されます。水分が不足し日光の照射が強くなるとオレンジ色になる場合もあります。しばしば黒い色を呈したのも見かけますが、これは多くの場合、藻の死骸にカビが寄生した状態です。

2 藻とカビの違いは

藻とカビの違いは主に次のような違いがあります。

特性	藻	カビ
性質	独立栄養タイプ(光合成)	従属栄養タイプ
水分	不可欠 汚染発生のポイント	一般的に湿度75%以上が適している
栄養源	光合成により増殖に必要な栄養(有機物)を自分で合成できる	増殖に必要な栄養(有機物)を他の有機物に依存する
空気	光合成と呼吸を行うため二酸化炭素、酸素が必要	酸素が必要
光の存在	光合成を行うため光が不可欠だが、あまり強くなりすぎると死滅して白色となる	直射日光下では生育しにくく、日光は必要としない。日の当たらないところでの生育には強い
最適場所	直射日光が当たらない比較的明るく湿った場所	日の当たらない湿った場所

3 藻やカビを取り除かないと、建物はどうなるの？

藻やカビは、表面で繁殖するだけで、根を建物内部まで伸ばすわけではありません。建物の構造体に対しては特に悪影響を与えません。但し、塗装の劣化度合が異なってきますので、できるだけこまめに清掃していただくことをおすすめします。

4 藻やカビの除去方法は

サイディング表面に藻やカビが見られたら、柔らかい布や柔らかいブラシで食器洗い用洗剤を用いて水洗いすることが適切です。

注：藻やカビを殺す薬剤を用いれば、繁殖を止めることはできます。しかし、色素のある藻の多くやカビの場合、死んでも跡が残ります。漂白作用のある薬剤を使えばカビ跡も残りにくいですが、逆にサイディング自体を傷めてしまう危険性があるので注意が必要です。また、再塗装によるメンテナンスをされる場合は、専門業者様にご相談されることをお勧めします。

藻を除去している例



① 洗浄前



② 食器洗い用中性洗剤を水で5~10倍程度に薄め、柔らかいブラシで洗浄します。



③ 水で十分に洗い流します。



④ 洗浄後

ご参考に

5 藻・コケの除去には、専用のクリーナーも

ローラーやスプレーで、専用のクリーナーを塗布して放置しておくだけで(約2~4週間)、藻やコケの除去の効果が現れます。(ただし、カビに対しては十分な効果が得られない場合があります。専用クリーナーの使用にあたっては注意事項に従ってください)



ローラーを使用する場合



Before
塗布前



After
2週間後



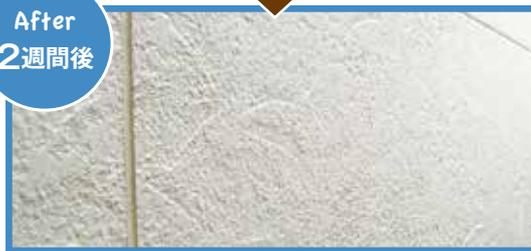
スプレーを使用する場合



Before
散布前



After
2週間後



※高所作業など危険が伴う場合は、住宅会社様・工務店様・専門業者様に相談してください。

専用クリーナーに関する連絡・お問い合わせ

製品名/
ワンステップ・スプレー・クリーナー

アルタン株式会社
東京都大田区東糞谷3-11-10
TEL.03-3743-5705



製品名/
オスモガーデンクリーナー

オスモ&エーデル株式会社
東京都新宿区西新宿1-20-2
新宿ホウライビル11F
TEL.03-6279-4971



ご参考に ⑤ 換気フードのメンテナンスについて

1 換気フードの目詰まりによる凍害現象

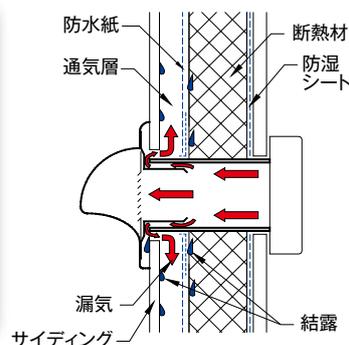
- 浴室等の湿気を含む排気により、ほこりが網に付着し、目詰まりすることがあります。
- 換気フードの網が目詰まりすると、右図のようにフードパイプと壁体内の接続パイプとの隙間から湿気を多く含む空気が壁体に放出されやすくなります。
- 上記の原因により、サイディング裏面で結露・吸水し、サイディング自体に凍害等の現象が現れることがあります。



換気フード周辺の凍害現象



換気フードの網目詰まり状態



フード目詰まり時の壁体内への湿気の放出

2 お手入れのお願い

- 換気フードの点検やメンテナンスについては、住宅会社様・工務店様に相談されるか、取扱説明書をご確認ください。
- リフォームの際等には用途に合った換気フードのご検討をお勧めします。

ご参考に ⑥ サッシ下の伝い水(汚れ)について

サッシ枠やガラス面の雨水や結露がサッシ下枠コーナー部からサイディング表面に伝い、それが繰り返されると汚れが発生する場合があります。

また、寒冷地域等では冬期にその伝い水が凍結して、サイディングの劣化を早めて、塗装剥がれや基材損傷につながることもあります。特に浴室サッシの場合は、浴室内侧のガラスの結露が伝い水となりやすいので、美観上の問題や不具合が発生しやすくなります。

維持管理の点検の際には、サッシ下の伝い水による汚れ等が目立つ場所はないかを点検し、伝い水発生箇所には、伝い水防止水切(後付タイプ)を設置することを住宅会社様・工務店様にご相談ください。



伝い水による汚れ



伝い水防止水切を設置した例

ご参考に ⑦ 除雪について

土台部、下屋根部、バルコニー水切部等でサイディングに雪がかぶさる部分や、入隅部などで雪の吹きだまりができる部分は積雪をこまめに除去してください。